

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年04月24日

計画の名称	旭市における下水道施設の防災・安全対策の推進（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	旭市													
計画の目標	ストックマネジメント計画を策定し、老朽化対策に対応した効果的な改築更新を行い、汚水処理能力の機能低下を未然に防止すると共に、ライフサイクルコストの最小化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		58	A	58	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	R01末	R03末
1	ストックマネジメント計画に基づく処理場・ポンプ場施設の点検・調査実施率を0%（H29）から50%（H33）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画による処理場・ポンプ場施設の点検・調査実施率 点検・調査実施済みとなる処理場・ポンプ場数（箇所） / 処理場・ポンプ場の全施設数（箇所）	0%	0%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者や市民等で構成される「旭市下水道事業運営協議会」において実施	令和6年2月
	公表の方法
	市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	点検調査は、最終目標値として設定した50%達成する結果となった。 計画策定により、施設の健全度評価・診断を行うことができ、今後計画的な維持管理が実施できる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	人口減少等による下水道使用料の増加が見込めない一方で、今後、下水道施設の修繕、改築等の整備に伴う維持管理費が増加し下水道事業の経営環境は厳しくなることが予測される。ストックマネジメント計画の策定により、長期的な改築事業のシナリオ設定を踏まえた修繕・改築計画の策定ができ、下水道事業経営の安定化が図れる。
特記事項（今後の方針等）	
ストックマネジメント計画に基づき引き続き点検調査を実施する。その調査結果をもとに、必要に応じて修繕・改築計画を策定し効率的な修繕等を実施する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	50%
	最終実績値	50%